

PEACE HIRAKATA

JCI HIRAKATA PRESS
2023.1 vol.58



2023年度 LOMスローガン

『Challenge』

～自らチャンスをつかみとろう 利他の心を忘れずに～

PICKUP CONTENTS

新春特別鼎談 (P2～5)

枚方市長 伏見 隆氏 北大阪商工会議所 会頭 久門哲男氏



Junior Chamber International Japan
一般社団法人枚方青年会議所



一般社団法人枚方青年会議所は
持続可能な開発目標 (SDGs) を
支援しています。

新春特別鼎談



枚方市長

伏見 隆氏



北大阪商工会議所 会頭

久門 哲男氏



一般社団法人枚方青年会議所 第63代理事長

白石 和也

【はじめに】

白石理事長…新年明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願い致します。

また、公私ともにお忙しいところお時間をいただき、誠にありがとうございます。

伏見市長・久門会頭…あけましておめでとうございます。本日はよろしくお願い致します。

【本年度ロムスローガン】

白石理事長…本年度、私たちは『Challenge』～自らチャンスをつかもう。利他の心を忘れずに～をスローガンに掲げ、明るい豊かなまちづくり運動を展開していきたいと考えています。これまで様々な運動を行ってきましたが、今後さらに挑戦をしていく想いをもって本年度も邁進してまいります。まず初めに、明るい豊かな社会の実現に向けて重要だと感じるチャレンジについて、伏見市長と久門会頭のお考えをお伺いしたいと思います。

伏見市長…枚方市としては、人口減少や少子高齢化社会への対応を見据え、持続可能な都市経営を推進しながら、市民との対話を大切に、温もりのある施策を届けていくことで、定住促進、関係人口の増加につながる魅力的なまちを目指していくことが市の大きな責務だと考えています。

そのためにも、子育て環境や教育環境の充実といった、未来を担う子育て世帯の定住促進につながる施策

策を推し進めることが重要であると考えています。

昨日よりも今日、今日よりも明日が明るく豊かになるように、チャレンジしていきます。

白石理事長…ありがとうございます。私事ではありますが、第一子が誕生し、出生届を出させていただきました。

その際に枚方市役所の方がとても親切にご対応くださいましたし、市長が仰っていた子育て等の政策についても、一人の枚方市民としてとても感謝しています。

その上で私たちが青年として、どういう形でもっと広く市民に情報を知ってもらうか考え、若い世代がしっかりと横のつながりで伝え、枚方人口の増加に対しても尽力していきたいと考えています。

久門会頭…商工会議所としては、産業の面で枚方の未来を描いていくことが重要と考えております。どんな業種も継続して安定した経営を続けてもらうことで枚方の経済が循環し、人々の暮らしや気持ち豊かな社会を目指していきたいと考えております。事業者が継続して経営できる環境、事業環境を作り、雇用の確保、外国人の採用、ベテラン従業員の活用など、企業が存続する上で必要な人材をいかに枚方で巻き込むか、そのために魅力ある企業やお店などが、この地域にたくさんあることをアピールすることも重要と考えております。商工会議所は営利団体ではないので実現するためにはまず行政との政策協議をしたい、そして、行政と各事業者

とのパイプ役をしたいと考えています。このコロナ前までは外国人が日本を選ばれていたが、今は日本が選ばれない時代になって時代が大きく変わりました。やはり各企業がいかに努力しているかも大切ですが、行政の力を借りて地元企業がより発展していけるようにし、利益をだしていかないとけないと考えています。円安で、日本の国力がどんどんどん低下していつております。ですから、いかにこれを日本の国力を上げていくことが大事じゃないかなと。日本がますます弱くなってしまうという若いJCー枚方の方々に期待するのは、まずは自身の本業をしっかりとやっていただきたいと思います。そして、自分を固めて、広い視野をもって、小さくまとまらずに大きく、活動に意味を持って頑張っていたきたいです。

白石理事長…ありがとうございます。今回「コロナの影響で、何店舗か経営していた飲食店は閉店したのですが、現在鮮魚と居酒屋をしています。決して、歴代の先輩たちと比べるわけではないのですが、毎日朝から仕事した上で、その後JC活動もしております。先ほど久門会頭が言われたように、自分たちの仕事や自分の基盤をしっかりと強固にした上で、地域の社会のために皆さんと、一緒にチャレンジしていくことが僕は大事だと思っております。引き続き、JCー枚方のメンバーも、まず自社の仕事をしっかりと頑張った上で地域の発展のために頑張ってもらいたいので、どうぞよろしく願います。

「持続可能なまちづくりへの取り組み」

白石理事長… 食料自給率が低い日本にとって、自給自足の観点が少なくなってきましたが、そこをどのように、枚方の資源を活用し取り組んでいくのか、また市駅付近の人が住みやすい開発が進んでいく中で、今自分たちに何ができるのかをしっかりと考えて、持続可能なまちづくりについて、取り組んでいきたいと考えています。

伏見市長… 持続可能というSDGsという言葉が出てきますが、SDGsは本市のあらゆる施策と深くつながっていて、SDGsの達成に向けた取り組みを進めることにより、本市の目指すまちの姿に近づけるようになるため、強く推し進めていく必要があると感じています。

そのためには、人口減少の問題などありますが、地域経済を活性化させていき、暮らしやすいまちの土台をしっかりと築いていかないといけないと考えています。

久門会頭… 持続可能なまちづくりということで、エネルギーの問題や、それに付随して環境問題など様々な問題があると思います、そこに関しては工夫しながら解決していかないといけない問題だと思っています。

枚方でも、農地は年々減少している中で、そこで若い方たちが挑戦したとしても、採算が合わないところが問題だと思います。本当はそこから、



してもらえると、まちとしても豊かになっていくので、JCI枚方の皆さんには、個々での活躍も期待しています。

JCI枚方全体でいうと、会員一人ひとりが地域に対して熱い気持ちをもって参加されていると思うので、その思いや皆さんがもつ若いエネルギーやネットワークを生かし、問題や課題に立ち向かい、行動を起こしていただきたいと思います。

6次産業化に変えていく、加工販売まで行くことが重要だと思いますので、その間に立ち政府、地方自治体とのパイプ役に商工会議所がなればと考えています。

白石理事長… 私も飲食関係で経営している中で、鮮魚店もやっています。その中で、コロナで外出しにくくなった時は、小売業が伸びて、私も6次産業で加工品を増やし、それに特化して地域の人々に色々な形で接していき、地域産業が活発化していけばいいと思っています。

久門会頭… そうですね。

あとは、労働力や、生産性を高めることも重要だと思いますので、商工会議所でも情報センターという専門分野もありますので、商工会議所として様々なことにお手伝いできればと思っています。

伏見市長… やはり、持続可能なまちづくりを進める中で、地元企業の力が重要になると強く思います。そのベースにSDGsがあり、企業が目標の達成に向け取り組むための動機付けをすることが行政の役割だと考えています。

「2023年の取り組みについて」

白石理事長… 本年は、北大阪商工会議所様が75周年を迎えられます。2025年には、大阪・関西万博があり、枚方市政においてもひらかた万博を実施するにあたり、枚方の未来を創っていく我々にとって、今後、更なる強固な関係性を発展させていくために

市の課題なども共有させていただき、一緒にチャレンジしていただけたらと思っています。

白石理事長… JCI枚方も200名を超える団体で活動力があるので、2023年度は、1本の軸を持って、しっかりと挑戦していきたいと思っています。我々も20歳〜40歳の青年団体なので、失敗しても良いと思っています。ただ、失敗を恐れずチャレンジすることが重要だと思いますし、そこで学びが生まれると思いますので、その辺りもしっかりメンバーに伝えていきたいと思っています。また、枚方の子どもたちにも、今ある環境下の中で、しっかりと郷土愛を持てるように地域にも貢献していきたいと思っています。

久門会頭… JCI枚方の皆さんとも、今後しっかりと強固な関係を築いていきたいと思っています。

地域にも様々な問題があると思いますが、青年らしく失敗を恐れずに、何事にも挑戦していただきたと思います。側面からのサポートはしっかりさせていただきますので、一緒に力を合わせてやっていきましょう。

（最後に）

伏見市長、久門会頭、本日はお時間とっていただきありがとうございます。

この鼎談も4年ぶりということですが、貴重な経験をさせていただきました。

この経験を、メンバーにもしっかりと共有させてい

必要なこと、そして、挑戦すべきこと等について、皆様のお考えをお聞かせいただければ幸いです。

伏見市長… JCI枚方の皆さんは、それぞれが職業人としても活躍されていると思うので、それぞれのフィールドでも新たなことに挑戦し、未来を切り拓いてほしいと思います。

ビジネスは、世の中の役に立つてこそ成り立つものだと感じています。みんなが使いたいとか、困っていることを解決するとか、そういったものを提供



ただきたいと思っています。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

誠にありがとうございました。



取材・記事・写真… 森本泰博・長田侑子・大島 充

2023年度 LOMスローガン

『Challenge』

～自らチャンスをつくり 利他の心を忘れずに～

▼LOMスローガン解説

本年のLOMスローガンは「Challenge」自らチャンスをつくり、利他の心を忘れずにです。我々は今日まで時代の流れを読み、多くの変革を成し遂げてきました。本年度は人々の行動様式や価値観の変化とも重なり、今まで以上の大きな変革点と予測されるでしょう。この事実を真摯に受け止め、我々はさらなる挑戦をしていくべき時を迎えています。また、過去を振り返れば、今日の大きな変化が求められる時代を築いていくのは我々青年会議所にほかなりません。今こそ我々は、変革に取り組み時代を牽引していく立場として、若者らしい斬新な発想と圧倒的な行動力で、挑戦し続ける必要があります。本年は大きく分けて、5つの「Challenge」を実践します。

常にJCの魅力と熱く語れる同志を増やし、志をつなぐことができる人財育成の実践
ダイバーシティマネジメントが唱えられている昨今、拡大や研修においてもしっかりとロジカルな視点をもって取り組むとともに、多様なメンバーを迎え入れ、新しい形の活動様式においても柔軟に活動できるメンバーをLOMで育てていきます。

交流を通じて、我々にしかできない恒久的な世界平和の実現に向けての事業の実践
世界中のJAYCEEが集まる世界会議やアジア太平洋オセアニア地域のJAYCEEが集まるASPACなど、世界規模の事業に参加することにより、その国の歴史・伝統・文化に触れて感じる国際交流を行うことで、我々にしかできない恒久的な世界平和の実現に向けて運動を展開していきます。

家族の絆や道徳観形成の手助けとなる持続可能な地域を創る運動の確立
我々、青年経済人が率先して学び得た知識を



地域の子どもたちに提供することで、より地域社会が明るい社会の実現に向けて、学びを実践するチャンスではないでしょうか。さらに、伝えることで自身も学び習得し、自ら情報をキャッチすることにより、またそれを広く伝播していくことが新たな挑戦です。

参画団体と協働し、より良い枚方のまちを目指した運動の実践
「枚方まつり」はイベントではなく、文化・歴史・伝統を継承し、発信する場であるとも考えます。我がまち枚方で市民に愛される祭りであることに誇りをもち、JC運動を発信する場とし、安心で安全な「枚方まつり」を実施するために、積極果敢に挑戦し続けます。

目的を明確化し、伝える広報ではなく、伝わる広報運動と全てのJAYCEEが自分事と捉え、挑戦し、誰もが元氣と笑顔で邁進できる組織の確立・運営
強固な会員拡大運動やひらかたのまちにJC一枚方の存在意義を、従来のホームページ及び広報誌やSNSでの周知のみならず、各メディア媒体にも果敢に挑戦し、アプローチを行うことで、私たちJC一枚方の意識変革運動を枚方全域に届けていき、信用と信頼に応える団体へとより一層の価値を高めていき、公益性の追求、財政の透明化、法令を遵守した組織運営を厳格に行い、目まぐるしく変化する社会情勢に対応していきます。



本年もよろしくお祈いします!

新春ご挨拶



一般社団法人枚方青年会議所
第63代理事長
白石和也

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、枚方市行政の皆様、北大阪商工会議所をはじめとする各種団体の皆様、そして私たち現役メンバーが心より敬愛をします枚方青年会議所シニアクラブの先輩諸氏には、枚方青年会議所の行う事業や運動に對しまして、深いご理解と温かいご支援・ご協力を賜りましたことに深く感謝し、厚く御礼申し上げます。また、旧年は、枚方青年会議所創立60周年節目の年でした。創立60周年運動指針の「多様な個性が調和する 持続可能なまち・ひらかた」の創造・希望をもたらす存在であり続けるために「」を掲げています。

そして、2023年度は、「[Challenge]」自らチャンスをつくり、利他の心を忘れずに」をスローガンとして掲げ、自ら何事にも全力で挑戦し、能動的な主体的に自らチャンスをつくり、いつも相手がいることを忘れずに、感謝し、利他の心をもった青年であるべく行動することにより、地域において「期待と必要とされる存在」であり続けるよう広く運動を展開してまいります。

2023年度の主な取り組みとしては、地域を明るくする「ひとへに」「まちづくりに」運動を展開し、常に魅力を熱く語る同志を一人でも多く増やすことで、共感を広げ、熱い志をもった、人財を地域に輩出し続けます。そして、想いを伝え、共感の連鎖を生み出し、枚方青年会議所が経験できない活動を通して、社会から本気で必要とされる団体であり続けられるよう運動を展開してまいります。そして、子どもたちへ明るい未来を創造してもらえよう事業を展開してまいります。近年、成人年齢の引き下げにより多様な選択ができるようになりましたが、その結果、自分で生き抜く力が以前より必要になってきており、より能動的に情報を集め、自分に合った方法を選ぶ必要があると考えています。そこで、我々青年会議所が地域の子どもたちと共に、考え・学び、多様な個性が調和する持続可能なまちづくりに行います。私たちは青年経済人として、ひらかたのために、明るい豊かな社会の実現に向けて志を高く、自分だけのことを考えて判断するのではなく、まわりの人のことを考え、思いやりで満ちた「利他の心」をもつことが、地域に必要とされるリーダー像だと私は確信します。社会が大きく変化する今こそ、英知と勇氣と情熱をもち、挑戦を続けることが必要です。先輩諸氏から紡いできたこの運動の軌跡を決して絶やすことなく、メンバー一同、明るい豊かな、ひらかたの未来に向けて挑戦し続けることをお誓い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



枚方青年会議所
シニアクラブ代表幹事
林 武

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

本年、枚方青年会議所シニアクラブ代表幹事を仰せつかりました林 武でございます。どうぞ1年間よろしくお祈いいたします。

さて、昨年は一般社団法人枚方青年会議所創立60周年という記念すべき年でした。式典等を通じ、改めて60年という歴史を再認識するとともに、多くの先輩や後輩、仲間たちと顔を合わせ、親交を温める機会を得た素晴らしい1年でありました。これからまた、次なる70周年に向けて新たな10年が始まるのですが、世の中の移り変わりが激しいことのとえとして「十年一昔」ということわざがあります。社会・経済情勢が刻々と変化する今日においては「一年一昔」「半年一昔」と表現しても過言でないほど、特にDXと呼ばれる概念による社会全般にもたらされる変革は、青年会議所活動にも大きな影響があるでしょう。激動の時代だからこそ、デジタル化・IT化といった波に飲まれることなく、過去の歴史を振り返り、学び、そして今の時代に合わせた力カチを造り上げることが必要なのではないかと考えています。その原動力は今も昔も変わらず人と人との繋がりが基本であり、シニア会員同士はもちろんですが、現役会員との交流を更に深めていくことが出来るよう、活動して参る所存であります。

むすびに、シニアクラブ会員皆様におかれましては、前年に引き続きましてご支援ご協力賜りますことをお願いいたしますと共に、ご健康に十分ご留意され、本年が素晴らしい一年となりますことをご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人枚方青年会議所
直前理事長
松下明夫

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、枚方市をはじめとする行政関係の皆様、北大阪商工会議所をはじめとする各種団体の皆様、そして枚方青年会議所シニアクラブの先輩諸氏には、私どもの活動に對し、深いご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

2022年度は、「Follow your passion」目的意識を共有し、不変の志を追求しよう」をLOMスローガンに掲げ、先輩諸氏が紡いできた情熱を絶やすことなく、すべてのメンバーが個々の熱意を灯し、すべての人への感謝を忘れず不変の志を追求し、熱意溢れる個の価値を調和させ、持続可能な未来の実現に向けて運動を展開してまいりました。

また、創立60周年という大きな節目に、関わっていただいたすべての人に感謝し、未来に向けて多くの人と共にまちの魅力を共感すること。さらには、私たちの運動にさらに共感して欲しいという想いを込め「感謝、調和によって持続するまちの創造」という創立60周年スローガンを掲げ、あらためて歴史を振り返る機会をいただき、今後10年のビジョンをお伝えすることができました。

私たちの存在意義は、わがまち枚方のまちづくりと、その想いをつなぐための人づくりであり、その理念は変わりません。「われわれは、つねに団結の力により創造者としての勇氣と実行力をもって地域社会の進歩発展に貢献せんとするものである」という創始の精神を胸に、60年間先輩諸氏が受け継いでこられた熱い想いを未来へとつないでまいります。

2023年度は、理事長 白石和也君の強いリーダーシップのもと、メンバー一丸となって何事にも挑戦し続けてまいります。最後になりますが、昨年賜りましたご支援、ご厚情を引き続き2023年度にも賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

2 月度例会



講師：谷田 昭吾氏
ヘルスケアオンライン株式会社 代表取締役

「変革を作るリーダーシップ」
～自分らしく成果を出す秘訣～

3 月度例会



講師：藤原 悟氏
ディー・アンド・リー株式会社 代表取締役

「Vision making」
～持続可能なまちを創造するには～

4 月度例会



講師：てんつくマン氏
(軌保博光) 映画監督

「意識変革」
～人の心を動かし巻き込み改革～

5 月度例会



講師：エド・はるみ氏
所属：吉本興業株式会社

「思っているだけでは伝わらない！」
～発信手法は十人十色～

7 月度例会



講師：山下 弘枝氏
一般社団法人橋公研究会 代表理事

「伝承」
～歴史があるから今がある～

10 月度例会



講師：福富 信也氏
株式会社Humanergy 代表取締役

「情熱のチームビルディング」
～相互理解で深める絆～

北河内地域合同例会



講師：更家 悠介氏
サラヤ株式会社 代表取締役

「コロナを超えて」
～北河内を元気にしよう～

友好JC(JCI中村)との交流事業(7月)



交流を通じてメンバー同士の友情をはぐくみ様々な情報交換や意識共有を図りました。

第二回定時総会(8月)



2022年度後半の事業に向けて収支予算計画修正の決定を始めとする意思統一を図りました。

わんぱく相撲(男子・女子)



わんぱく相撲全国大会の小学5年生の部で、枚方出身の男子、女子が、共に全国優勝を果たしました！

3 JC合同事業



JCI交野・JCI寝屋川メンバーに、JCI枚方の運動を知ってもらい、これまで以上に切磋琢磨できる関係を築きました。

近畿地区大会 高槻大会



新入会員同士の交流を図り、これからのJC運動の理解も深めました。

大阪ブロック大会 八尾大会開催



JCI枚方メンバーが大阪ブロック出向者への激励を行いました。

第71回全国大会 おおいた大会



全国各地より参加する同志を持った仲間と、ご卒業予定者の皆様の功労に感謝の気持ちを共有しました。

2022年度 事業報告

創立60周年記念事業「枚方チャレンジ」
～みんなでつくろう！まちのミライ～

参加の子どもたちが「枚方こども会議」や「公園づくり」にて楽しいだけではなく考えることや苦勞することもあり、まちづくりの大変さを知るきっかけとなりました。

公園には沢山のタイヤや、みんなでお絵描きできる黒板など、枚方の地にみんなで遊べる場所、車塚公園の「タイヤ公園」が子ども達の手によって誕生しました。

創立60周年記念式典

一般社団法人枚方青年会議所、創立60周年記念式典・祝賀会を開催させていただきました。

この日のために、2年前から準備を行い当日を迎え、お忙しい中、多くの方が出席してくださり過去10年の報告と、今後10年の方向性を共有させていただきました。歴代理事長達が登壇された時は、先輩諸氏が紡いでこられた60年という長きに亘る歴史を改めて肌で感じる事ができました。



JCI枚方創立60周年記念ゴルフ大会

10月14日、枚方カントリー倶楽部さんで「JCI枚方創立60周年記念ゴルフ大会」を開催しました！これまで先輩諸氏が長きにわたり紡いでこられた想いを受け継ぎ、その歴史に感謝の心をもって、記念すべき節目の年を機会と捉え、LOM一丸となってJC運動に進出し、これまで携わっていただいた方々に感謝を伝え、交流を通して親睦を深めました。

「創立60周年記念公開例会」
～未来へとつながる枚方の創造～

社会情勢が変化しても、自ら描いたビジョンに向かって行動を起こしていくことが大切であるということは変わらないことを伝え、オンラインという時代に則した手法を取り入れつつ、オフラインの良さを掛け合わせ、一人ひとりが目の前のことに取り組みつつも、未来から逆算して行動する思考をもち、時代の変化に合わせて柔軟に対応しながら主体的に行動することによって、持続可能なまちの創造へとつながる公開例会を実施しました。



2023年度 委員会紹介

枚方まつり実施委員会

枚方の夏の風物詩といえば「ひらかたまつり」
JCI枚方が企画する枚方フェスティバル協議会の主催
事業です。来場した方に枚方をもっと好きになって貰え
る笑顔溢れるひらかたまつりを企画・準備していきます。

委員長 山元 孝



広報Branding委員会

JCI運動を多くの市民に認知してもらうため
に、関心をもてる発信方法を追求し、伝わる
広報を意識した迅速な情報発信を行います。

委員長 大島 充



枚方フェスティバル運営委員会

枚方の文化・歴史・伝統に誇りをもって次代へとつなぐ
ために、改めて歴史を紐解き、フェスティバル協議会
の理想の形を研究します。

委員長 藤田 賢太



こころざし共感委員会

皆さん「こころざさってますか!!」を合言葉
に、こころざしに共感できる仲間を増やして
いきます。

委員長 山本 樹

先輩諸氏より育まれた友情の歴史を紐解き、
交流の魅力を伝播し、国内外での交流を深め、
友情をより一層強固にし、次世代へと繋げて
いきます。

渉外交流委員会

委員長 吉永 翔



枚方Kids育成委員会

子どもたちが普段の日常生活の様々なこと
において、感謝の気持ちを醸成するために、自
然との共生を通じて家族と共に他者を理解し、
思いやりの心を学び、人との絆を一層深める
機会を創出します。

委員長 廣瀬 公彦



枚方Young育成委員会

子どもたちが多様化していく社会の仕組みに
対応していくために、将来を見据え、自ら考
え判断し、積極的に行動する事の重要性を学
べる場を提供します。

委員長 稲葉 潤



Governance向上委員会

地域からの信頼をより一層高めることのできる団体へ
成長するために、多様な考えを受け入れ、一人ひとり
が組織の一員としての自覚がもてる盤石なガバナンス
の強化に努めます。

委員長 金澤 玄太



事務局兼財政審査会議

組織の庶務を円滑に行うために、資料や備品を整理し、
効率的な事業構築に対応する事務局を運営します。

事務局兼財政審査会議議長 新田 薫



総合建築業



株式会社ヤマゲン工務店

YAMAGEN KOU MUTEN

代表取締役 山元 孝

〒573-1155 大阪府枚方市招提南町1-56-6-101
TEL:072-807-4114 FAX:072-807-4124
mail:yamamoto@yamagen-gy.com

建築・塗装工事



代表取締役 山本 樹

〒573-0001 大阪府枚方市田口山1-3-10-2
TEL:072-392-5458 FAX:072-843-2007
mail:info@shinkipaint.com/

庭園設計・施工・管理
土木工事 伐採・除草工事等



株式会社
井上造園

代表取締役 井上 杜宏

〒573-0163 大阪府枚方市長尾元町1-33-67
TEL:072-860-7093 FAX:072-807-8866
mail:inouezouen1013@gmail.com



株式会社 柿丸建設
代表取締役 柿丸 裕

大阪府枚方市長尾北町1-1794-5
TEL (072) -867-8288

DAIKI

一級建築士事務所

〒573-0073 大阪府枚方市高田二丁目35-2
TEL:072-860-2811 / FAX:072-860-2812
mail:info@daiki-ltd.co.jp 担当: 濱田



一 建築一式

株式会社本郷工務店

〒572-0835 大阪府寝屋川市日乃出町12-8
TEL (072) 800-4006 FAX (072) 800-4005

2023年度 事業予定

家族との育み「自然に感謝する」事業

農作業を通じて日ごろ口にしている食べ物への有難みと共に、日常に関わっている家族や地域との関わりを感じることで、子どもたちが、普段の生活の様々なことにおいて、感謝の気持ちを醸成するために、自然との共生を通じて家族と共に他者を理解し思いやりの心を学び、人との絆を一層深める機会を創出します。



社会で生き抜く力を育む教育推進事業

子どもたちが、多様化していく社会の仕組みに対応していくために、将来を見据え、積極的に行動する重要性とともに、リスク管理の必要性について学べる場を提供し、社会に出てから生き抜いていくための力を身に付けることを目的とします。



友好JC(JCI中村)との交流事業

JCI中村とまちづくりへの志を共有し、それぞれの地域で発展するために、相手との違いを認識し、互いの地域の魅力に気づき自己成長につながる機会を提供するとともに、友好締結50周年を迎えたJCI中村との友情をさらに深化させるために、互いの歴史・伝統・文化を学び、次世代に向け心からつながる友情を育み、感謝と敬意を払う機会を創出します。



姉妹JC(JCI彰化)との交流事業

昨年、姉妹締結55周年を迎えたJCI彰化との相互理解を深めるために、他者を思いやる心を育み、互いの文化や歴史を学べる交流を図ります。そして、JCメンバーが国際組織の一員としての自覚をもって相互理解を確立させるために、自分自身を知り自己成長へとつながる機会を提供します。

枚方まつり2023

あらゆる社会情勢においても持続可能で安心安全な枚方まつりを実現するために、産・学・官・民との協働を通して、運営面・財政面・人員面など、山積する現状の課題解決へ尽力し、全ての人が枚方のまちを全力で楽しめる企画・立案・実施へ挑戦します。



SA.N.E.S.U.MOTORS NISSAN 自動車保険・火災保険・傷害保険等を取り扱うディーラー特約代理店
MSAAD 三井住友海上火災保険㈱ AIG 損害保険㈱ 東京海上日動火災保険㈱

民間車検工場

カーリース レンタカー

株式会社 サンエスモーターズ
日産チェリー枚方西販売株式会社
〒573-1171 枚方市三菜1丁目2番14号
TEL (072)851-6000 代 Eメール: sss@ninus.ocn.ne.jp

就労継続支援事業所

株式会社 Weljoy

専務取締役 金澤玄太

〒573-1192 大阪府枚方市西禁野2-2-26 2F
TEL:072-847-2030 FAX:072-847-2031

公共工事・上下水道工事

株式会社 荃泉

取締役 藤田賢太

〒572-0866 大阪府寝屋川市小路南町20-18
TEL:072-825-7770 FAX:072-820-6688
mail: keisen-fujita@gaea.ocn.ne.jp

一般社団法人 First penguin

のあく自然学校

代表理事 吉永 翔

〒600-8127
京都府京都市下京区西木屋町通上ノ口上の梅湊町83-1
京都市市民活動総合センターひとまち交流館2階
TEL:080-2569-5315

開発・土木設計・明示・境界確認

兵頭設計株式会社

専務取締役 稲葉 潤

〒575-0045 大阪府四條畷市雁屋西町16-7-301
TEL:072-800-6574 FAX:072-800-6575
mail: hyodo-office@sirius.ocn.ne.jp

自動車整備・板金塗装業・販売・買取

株式会社 広瀬自動車

代表取締役 廣瀬公彦

〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中3-4-41
TEL:072-646-8166 FAX:072-646-8167
mail: kimihikokimikhiko20@zeus.eonet.ne.jp

一般社団法人枚方青年会議所(JCI枚方)とは

修練



友情



奉仕



枚方青年会議所とは

枚方青年会議所(JCI枚方)は、1962年(昭和37年)、「常に団結の力により創造者としての勇氣と実行力をもって地域社会の発展に貢献する」という趣旨のもと、全国で221番目に設立されました。以降約60年間脈々と歴史を刻みながら、地域特性を活かしたまちづくりや子どもたちの育成、まつりなどの事業を通じて様々な運動を展開しております。JCI枚方には約200名のメンバーが在籍しており、各々が会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献しております。

入会案内

一般社団法人枚方青年会議所は、20歳から38歳までの若き経済人を募集しています。
人種・国籍・性別・思想の別なくご入会できます。
ここでしかできない素晴らしい経験、多くの学び、そして一生の友になるであろう仲間たちがここには居ます。
あなたも枚方青年会議所の一員になってみませんか？

PEACE HIRAKATA
vol.58

アンケートにご協力ください。



【ヒラカッターを探せ！コーナー】

ヒラカッターがページのどこかに2ヶ所隠れています！隠し場所の正解はJCI枚方の公式HPをご覧ください(人▽人)/



一般社団法人枚方青年会議所 2023年度理事役員紹介 <http://hirakata-jc.jp/>



Senior Club

シニアクラブ 訪問記

訪問した先輩

山栄総合開発株式会社 代表取締役社長

第56代理事長

上山 芳明 先輩



2016年度 LOMスローガン

「for the future」
～つながりの力による夢と希望溢れる枚方の創造～

3月～10月

エフエムひらかた『つながりトレイン』放送

5月 グローバル・ユース・リーダートレーニングプロジェクト2016

6月 中村JCI創立60周年記念式典参加

7月 公開例会「ひらかた未来創造フォーラム」

8月 枚方まつり2016

9月 彰化JCI創立50周年記念式典参加

Q1 上山先輩が入会されたきっかけを教えてください。

入会したのは、仕事関係の先輩がJCMメンバーで、誘っていただいたことがきっかけです。仕事をすることで、同業種の集まる団体はあり、同じ仕事関係の人とは新しく知り合う機会が多くありましたが、それ以外の業種の方と知り合う機会はありませんでした。また、家業を継いでいくにあたり、経営論や組織論を学ぶこともできると聞いていましたので、自分自身の人脈を広げることと自己成長のために入会させていただきました。

Q2 当時掲げたLOMスローガンに込めた思いを教えてください。

2016年度のLOMスローガンを決めるにあたり、私は「人」という社会で生きている私たちにとって、「人との出会いやつながり」というものが、何よりの宝、財産であるという想いのもと、「つながり」という言葉をキーワードにしました。この、財産である「つながり」をどう活かすのか、また、どう強く深いものにしていくのかということを理

事長所信にも「つながり」について多く書かせていただきました。その所信をまとめて一言で表したものがLOMスローガンです。

「人」のつながり、「地域」のつながり、「組織」のつながり、「メンバー」一人ひとりの個人としてのつながり「JCI」という組織としてのつながり、そのすべてのつながりの力というものを最大限に発揮して、地域の未来のために、子供たちの未来のために、自分自身の未来のために、そしてLOMの未来のために、様々な運動を行う。2016年度のLOMスローガンにはそんな想いを込めました。

Q3 理事長をされている中で、思いに残っている事業を教えてください。

地域の魅力を確立するために行った「枚方らしさ」を表したロゴキャッチを作るという事業が一番印象に残っています。ロゴキャッチを作成した理由は、地域でよく「郷土愛を持ちましよう」といわれている中で、枚方といえば何だろうと考えた時に、一つではなくて多くの様々な魅力が出てきました。逆にいうと枚方といえばこれだというものがないのか

Q4 JCI卒業後、入会してよかったと思うことはありますか？

卒業して思うことは、入会してよかった、卒業してよかったということしかありません。JCIは自分磨きの場所であり、自分自身本来に入会しなければ経験できなかったであろう様々な経験をさせていただきました。入会するきっかけにもなった組織論についても多くのことを学ばせていただき、実際自分自身の仕事のやり方にも取り入れている部分は多くあります。また、出合いの部分についても本当に心を許せる信頼できる仲間が多くできました。やはり、自分磨きができることと、人と人とのつながりや出会いが得られることが、この団体の魅力であり、宝であると思います。

Q5 現役メンバーに一言お願いします。

私は、2007年に入会させていただきました。直前理事長が終わるまでの11年間、紆余曲折ありながらも、一生懸命走り切ったと思っています。当時は楽しいことも辛いことも様々

もしれないということ、一度市民の皆様アンケート調査してみようということになりました。アンケートを実施した結果、やはり地域の方々も同じように枚方の魅力にの統一したイメージはないことが分かりました。そこで、それなら様々な枚方のまちの魅力を表すことのできるロゴマークを作ろうということ、一般公募を行い、公開例会の場で発表するという事業を行いました。その後も、ロゴキャッチについては翌年以降も継続して推進事業を展開していただき、今ではJCI枚方のホームページに掲載されていたり、多くの方が登録して使用していただいているようで、非常に嬉しく思っています。

ありました、今振り返ると入会してよかったという想いがあります。
JCIに入会する動機は「自分自身で興味があったから」「親から入会しろといわれたから」「仕事の関係でしかたなく」など、人それぞれあると思います。ただ、自分自身で入会を決断した時点で全員が同じスタートラインだと思っています。せっかく入会したのであれば、自分自身のために、会社のために、家族のために、この団体で学べるものをすべて吸収してやろうというぐらゐの意気込みで、目の前にある様々なこと全てに前向きに取り組んでもらいたいと思います。JCIは40歳で卒業なので、卒業式を迎えた時にあれをやっていたればよかったなど後悔のないように、卒業までの限られたJCIライフをしっかりと目的をもって過ごしてもらいたいと思います。現役メンバーの皆さんの今後の活躍に期待しています。



取材・記事・写真：森本泰博・長田侑子・大島 充



JCI枚方

検索



寿司・鮮魚

魚和水産

UOKAZU SUISAN 国

産地直送よってって 枚方北山店舗内

鮮魚は何でもご相談ください!

別注受付中

大阪府枚方市北山 1-23-1

TEL 072-855-0357



松下建創 株式会社

MATSUSHITA KENSO Inc.

営業品目

雨漏り修理 / 防水工事 / 外壁工事 /
住まいのお困り解消 / メンテナンス

573-0014 大阪府枚方市村野高見台9-86

TEL 072-395-0492

FAX 072-395-0493

MAIL info@matsushitakenso.co.jp

大阪府知事許可(般-3)第156104号



web



株式会社橘電気工事

TACHIBANA DENKI KOJI Co., Ltd

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町4-23-19

TEL 072-850-4070 / FAX 072-850-4056

建築・内装軽鉄・内装仕上工事



大阪府建設許可(特-30)第99738号

〒573-1134 枚方市養父丘2丁目22-3

電話 072-867-5719 FAX 072-867-8594



電気・空調・防災設備 設計・施工
磯嶋電工株式会社

大阪府知事許可(般-30)第150197号

〒573-0013

大阪府枚方市星丘2丁目24-17

Tel : 072-896-5806

Fax : 072-896-5807

Mail : info@iso-den.com



税務・会計 相続・事業継承

あなたにプロのサービスを
Apro's 税理士法人
— アブロスぜいりしほうじん —

代表社員税理士 林 武

〒573-0027 枚方市大垣内町3-9-20

TEL:072-861-1900 FAX:072-861-1901

Mail:t-hayashi@apros-tax.com

Web:https://www.apros-tax.com/



JAPAN FRESH FISH

- ・イズミヤ交野本店 ・トナリエ南千里内 吹田店
- ・アプロ藤井寺店 ・トナリエ大和高田内 奈良店
- ・JAファーマーズへぐり内 生駒店

本部事務所

大阪府交野市私部西1-11-5 HIKO壱番館305号室

TEL 072-845-4619 FAX 072-845-4620

株式会社日本シーマート 代表取締役 森本 泰博

注文住宅・リノベーション
オーダー家具・店舗デザイン



since1911

tel:072-897-1170

Plus one eco and home creation co.,Ltd



株式会社Blessing



- ・結婚相談所開業支援
- ・結婚相談
- ・ヘアメイク
- ・社員研修

Tel:072-807-8358

大阪府枚方市町楠葉1-12-6-2F

info@m-blessing.co.jp



看板

設計・製作・施工・デザイン・申請代行
のぼり・ちょうちん・ステッカー・電飾・箱文字
その他相談 無料で乗ります!



株式会社 松田工芸社

TEL.072-847-5251